

## セアカオサムシ

*Carabus tuberculatus*

兵庫県：要調査

環境省：準絶滅危惧 (NT)

### 種の概要

体長16～22mm。頭部、前胸背板は赤銅色で多少緑色光沢があることが多い、また緑色を帯びることもある。上翅の側縁部は光沢のある赤銅色、または金色、その内側は緑色を帯びるのが普通で特に肩部で著しい。上翅の凹部は黒色または赤銅色、胸側板の点刻は金銅色。前頭部はゆるやかにふくらみ、中央部を除き強く点刻される。草地や河原などの開放的な環境に生息し、小動物や小昆虫を捕食する。成虫はほぼ年中見られる。



写真提供：森正人

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州

### 県内分布記録

神戸市、芦屋市、宝塚市、神河町、養父市、香美町、姫路市、豊岡市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○	○		○

### 特記事項

その後の調査で新たな生息地や記録が少し見つかっている。本種はホソハンミョウと同様にある程度規模の大きな草地環境に生息しているが、そのような環境は減少し、また規模が小さくなるなど悪化が進んでいる。

### 保護上の留意点

草地環境の保全